

亀岡市障がい者基本計画策定のためのアンケート調査

18歳未満対象 調査票（案）

〈調査ご協力をお願い〉

亀岡市の福祉行政の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、現在、障がい者施策の基本計画として、「第4期亀岡市障がい者基本計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、心身の発達に課題のあるお子さんのおられる保護者の方を対象に、そのお考えをお聞きし、計画を策定していくうえで参考とすることを目的としています。

皆さまには、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、計画策定以外に使用しませんので、ありのままをご回答ください。

令和元年#月

亀岡市

〈ご記入にあたってのお願い〉

- この調査票は、保護者の方が記入してください。
- この調査票には、お名前・ご住所を、記入しないでください。
- この調査は、あなた自身のお考えをお答えください。
- 回答は質問にしたがって、選択肢のあてはまる番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- ○をつける時は、1つまたは（ ）内に指定した数の範囲内でお答えください。
- 質問項目で答えたくないものについては、空欄で結構です。
- ご記入いただいた調査票は、#月#日（*曜日）までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。
- ご記入にあたり、ご不明の点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

亀岡市 健康福祉部障害福祉課

TEL：0771-25-5031／FAX：0771-25-5511

Eメール：syougai-fukusi@city.kameoka.lg.jp

〈お答えいただくためのお願い〉

- この調査は、心身に生活のしづらさを抱えている人やそのご家族の生きづらさを少しでも減らし、暮らしをより良くしていくためにどうしたらよいかを考えるために実施するものです。
- みなさまに調査にご協力いただくことが、亀岡市の障がい者福祉施策の充実に向けた、いわば住民参加の大切な一環になると考え、重ねてご回答をお願い申し上げます。
- 質問が多く、なかには普段使わないような難しい用語もあるなど、障がいのある人にとって回答が大きな負担になる場合もあるかと思えます。
- 自力で回答の困難な方は、亀岡市障害福祉課、あるいは、以下の相談支援事業所に調査票をお持ちいただければ、回答をお手伝いいたします。
【以下、協力を得られる相談支援事業所名などを掲載】

1 あなたやお子さんについてお聞かせください

問1 お子さんからみたあなたの続柄を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 |
| 3. 祖父母 | 4. その他 () |

問2 お子さんの性別はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 お子さんの年齢は満何歳ですか。

※令和元年#月#日現在でお答えください。

満 () 歳

問4 あなたとお子さんのお住まいはどちらですか。(1つに○)

1. 亀岡地区 (亀岡地区 (東部、中部、西部))
2. 川東地区 (馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町)
3. 南部地区 (東別院町、西別院町、曾我部町)
4. 中部地区 (吉川町、蔦田野町、大井町、千代川町)
5. 西部地区 (本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町)
6. 篠地区 (篠町)
7. つつじヶ丘地区 (東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘)

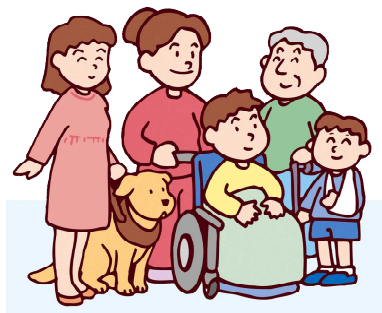
問5 お子さんの日中活動の場を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 通園・通学している | → 問6へ |
| 2. 在宅 | → 問7へ |
| 3. わからない | → 問7へ |

問5で「1. 通園・通学している」と回答された方にお聞きします。

問6 現在の通園・通学場所について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 保育所 | 2. 幼稚園 |
| 3. 認定こども園 | 4. 通級指導教室 |
| 5. 小学校通常学級 | 6. 小学校特別支援学級 |
| 7. 特別支援学校 (小学部) | 8. 中学校通常学級 |
| 9. 中学校特別支援学級 | 10. 特別支援学校 (中学部) |
| 11. 高等学校 | 12. 特別支援学校 (高等部) |
| 13. 療育機関 (療育教室「フレンズ」、花ノ木医療福祉センターを含む) | |
| 14. その他 () | |



2 お子さんの発達上の課題についてお聞かせください

問7 はじめて、お子さんの発達が心配になったときのお子さんの年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 0歳～1歳6か月 | 2. 1歳7か月～3歳 | 3. 4歳～6歳 |
| 4. 7歳～12歳 | 5. 13歳～17歳 | |

問8 お子さんの発達上の課題について、はじめて関係機関で相談をしてから、言語訓練、動作訓練、学習支援などの支援を受けるまでの期間について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1か月未満 | 2. 3か月未満 | 3. 6か月未満 |
| 4. 1年未満 | 5. 2年未満 | 6. 2年以上 |

問9 その支援を受けた機関名を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 保健センター | 2. 病院・クリニック |
| 3. 児童相談所 | 4. 教育機関 |
| 5. 療育機関 (療育教室「フレンズ」、花ノ木医療福祉センターなど) | |
| 6. 通園施設 (洛西愛育園など) | 7. 保健所 |
| 8. その他 () | |

問10 お子さんが持っている障害者手帳について教えてください。
手帳等の種類 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 身体障害者手帳 | → 問11へ |
| 2. 療育手帳 | → 問14へ |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳 | → 問15へ |
| 4. 手帳は持っていない | → 問16へ |

問10で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

問11 「身体障害者手帳」の等級は何級ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 4級 | 5. 5級 | 6. 6級 |

問 10 で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

問 12 どのような障がいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障がい
2. 聴覚障がい、平衡機能障がい
3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい
4. 肢体不自由
5. 内部障がい
〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能〕

問 10 で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

問 13 障がいの原因は、次のどれですか。(1つに○)

1. 交通事故
2. 労働災害
3. 先天性(生まれつき)
4. 疾病
5. その他()

問 10 で「2. 療育手帳」と回答された方にお聞きします。

問 14 (1)「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(1つに○)

1. A
2. B

問 10 で「3. 精神障害者保健福祉手帳」と回答された方にお聞きします。

問 15 「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。(1つに○)

1. 1級
2. 2級
3. 3級

問 16 お子さんは発達障がいの診断を受けていますか。

(広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど)(1つに○)

1. 受けている(疑いを指摘された場合を含む)
2. 受けていない

問 17 次のうち該当するものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 統合失調症、妄想性障害、非定型精神症
2. 気分(感情)障害 (躁うつ病・うつ病を含む)
3. 神経症、ストレス関連障害、身体表現性障害及び解離性障害
4. てんかん
5. 脳器質性精神障害 (アルツハイマー型認知症など)
6. 人格障害
7. 自閉症スペクトラム
(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害)
8. 注意欠陥/多動性障害【AD/HD】
9. 学習障害【LD】
10. 高次脳機能障害
11. その他 ()
12. 該当するものはない
13. わからない

問 18 お子さんは、難病(小児慢性特定疾病)の認定を受けていますか。(1つに○)

1. 受けている
2. 受けていない



3 お子さんの休暇、放課後等の過ごし方についてお聞かせください

問 19 お子さんの休暇、放課後等の主な過ごし方は次のうちのどれですか。
(3つまでに○)

- | |
|--|
| <p>1. 習い事や趣味を行っている</p> <p>2. 資格取得や職業訓練を受けている</p> <p>3. スポーツやレクリエーションに参加している</p> <p>4. 公園などで遊んでいる</p> <p>5. 自宅でテレビなどを観て過ごす</p> <p>6. 放課後等デイサービスを利用している</p> <p>7. 移動支援（ガイドヘルプ）サービス【外出の時の付き添い】を利用している</p> <p>8. 放課後児童会を利用している</p> <p>9. ファミリー・サポート・センターを利用している</p> <p>10. その他（<input type="text"/>）</p> <p>11. 特にない</p> |
|--|

問 20 日常の放課後や休日の過ごし方について、施設等の利用状況をお教えてください。
(各項目あてはまるものそれぞれ1つに○)

| 項目 | 日常 | 時々 | ない | |
|---------------|----|----|-------------|----------|
| | | | 利用したくてもできない | 利用する気がない |
| ①児童館 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②図書館 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③体育館 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④習いごと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤放課後児童会 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥障がい福祉サービス事業所 | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 21 お子さんには、放課後や休日、長期期間中にどのように過ごさせたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 造形活動（絵画や陶芸など） | 2. 学習（資格取得やパソコン講座など） |
| 3. 習いごと（華道や茶道など） | 4. 激しい運動（パラリンピック種目など） |
| 5. 軽い運動（ダンスや散歩など） | 6. 屋外での趣味（釣りや庭いじりなど） |
| 7. 屋内での趣味（読書やゲームなど） | 8. 泊りがけや日帰りの旅行 |
| 9. 映画や演劇の鑑賞 | 10. 外食やお茶 |
| 11. バザーやフリーマーケット | 12. ボランティア活動 |
| 13. 家族や友人との団らん | 14. ゆっくり休息する |
| 15. その他（ <input type="text"/> ） | |

問 22 お子さんの身の回りで、外出のときに必要な設備や支援、改善が特に必要であるものは、何ですか。(3つまでに○)

1. 障がいへの理解が不足している(視線などが気になるなど)
2. 緊急事態が起こった時の対応に不安がある
3. 障がい者用トイレや障がい者専用駐車場が整備されていないなど、バリアフリー化が進んでいない
4. 道路の段差、歩道に障害物などがあり、通行が困難
5. タクシー、路線バス、電車の利用が困難、不便である(料金などの支払いなど)
6. まわりの人の手助け・配慮が足りない
7. 付き添ってくれる介助者、援助者を確保することが困難
8. 障がいの特性に配慮した案内板や周辺地図などの文字・地図情報が少ない
9. 外出時に利用したい障がい福祉サービスなどが利用できない
10. 移動する交通手段がない
11. 福祉タクシーやリフト付き車両などが利用しにくい
12. 点字ブロック、音声付信号機が少ない
13. 車道と歩道の区別がわかりにくいので危険を感じる
14. まわりの人とのコミュニケーションを取りにくい
15. その他()
16. 特になし

問 23 お子さんは、日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じることはありませんか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. よく感じる | → 問 24 へ |
| 2. ときどき感じる | → 問 24 へ |
| 3. ほとんど感じない | → 問 25 へ |
| 4. まったく感じない | → 問 25 へ |

問 23 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。

問 24 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 保護者の仕事や収入 | 2. 教育の場 |
| 3. 人間関係 | 4. 冠婚葬祭 |
| 5. スポーツ・趣味の活動 | 6. 地域の行事・集まり |
| 7. 街のなかでの視線 | 8. 店などでの対応・態度 |
| 9. 交通機関の利用 | 10. その他() |

問 25 障がいがあるために差別や偏見を感じることは、この5年間で変わったように
思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 増えたと思う | 2. あまり変わらないと思う |
| 3. 減ったと思う | 4. 差別や偏見を感じたことがない |
| 5. わからない | |

問 26 お子さんとあなたは、心身に生活のしづらさを抱えている人への市民の理解を
深めるためには、何が特に必要だと考えますか。(3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. 障がいや障がい者問題に関する広報・啓発の充実 |
| 2. 障がいへの理解を深めるために活動する市民団体への支援 |
| 3. 心身に生活のしづらさを抱えている人へのボランティア活動の推進 |
| 4. 心身に生活のしづらさを抱えている人との市民交流を通じての理解と参加の 促進 |
| 5. 学校における福祉教育の充実 |
| 6. 障がいに関する講演会や学習会の開催 |
| 7. 心身に生活のしづらさを抱えている人の積極的な社会への進出 |
| 8. 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流 |
| 9. 心身に生活のしづらさを抱えている人の地域のまちづくりへの参加 |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |
| 12. わからない |

4 保護者同士のネットワークについてお聞かせください

問 27 お子さんの心身の発達への課題について相談できる方はいますか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 相談相手がいる | → 問 28 へ |
| 2. 相談相手がない | → 問 31 へ |

問 27 で「1. 相談相手がいる」と回答した方にお聞きします。

問 28 その方にも心身の発達に課題のあるお子さんがいますか。(1つに○)

- | | |
|---|----------|
| 1. 相談相手にも身体や発達に課題のあるお子さんがいる | → 問 29 へ |
| 2. 相談相手には身体や発達に課題のあるお子さんがいない | → 問 32 へ |
| 3. 身体や発達に課題のあるお子さんがいる相談相手も、 身体や発達に課題のあるお子さんがいない相談相手もいる | → 問 29 へ |

問 28 で「1」または「3」、相談相手には『身体や発達に課題のあるお子さんがいる』と回答した方にお聞きします。

問 29 その相談相手とはどこで知り合われましたか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 療育機関（療育教室「フレンズ」、花ノ木医療福祉センターなど） | |
| 2. 保育所 | 3. 幼稚園 |
| 4. 小・中・高等学校 | 5. 病院・医院 |
| 6. サービスを受けているところ（施設・事業所等） | |
| 7. 市役所 | 8. 保健所 |
| 9. 保健センター | 10. 民生委員・児童委員を通じて |
| 11. 障害者相談員を通じて | 12. 障がい者（児）の団体 |
| 13. その他（ ） | |

問 28 で「1」または「3」、相談相手には『身体や発達に課題のあるお子さんがいる』と回答した方にお聞きします。

問 30 その相談相手とはお子さんを預けたり、預かったりができますか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 日常、預けあっている |
| 2. 時々、預けあっている |
| 3. 預けあったことはないが可能だと思う |
| 4. 預けあったことはないし無理だと思う |

問 27 で「2. 相談相手がいらない」と回答した方にお聞きします。

問 31 相談についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 市役所や施設などの相談窓口であれば、それで十分 |
| 2. 相談窓口より親同士のつながりが重要であると思うが、 どのようにしてつながりをつくれればよいかわからない |
| 3. 相談の必要はなく、自分で解決していればよいと考えている |

5 お子さんの療育・保育等についてお聞かせください

問 32 から問 35 までは、就学前のお子さんの状況についてお答えください。

また、就学後のお子さんについては就学前の状況を思い出してお答えください。

問 32 現在、どのような療育を受けていますか、または過去に受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 1. 児童発達支援（療育教室「フレンズ」、花ノ木医療福祉センターなど） | |
| 2. 障がい児通園施設 | 3. 医療機関の療育 |
| 4. 発達障害者支援センター | 5. 保育園・幼稚園の療育 |
| 6. その他（ | 7. 利用なし |

問 33 療育機関・園での生活や支援での特に問題のある点は、次のどれですか（どれでしたか）。（3つまでに○）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 通園が大変 | 2. 保育・教育等のサポート体制が不十分 |
| 3. 療育・保育内容が不十分 | 4. 必要な設備が不十分 |
| 5. 療育機関や園内での介助が不十分 | 6. 友達ができない |
| 7. 職員の理解が得られない | 8. 他の子どもの保護者の理解が得られない |
| 9. 家族の同伴を求められる | 10. その他（ |
| 11. 特にない | |

問 34 その療育を受けている（受けていた）療育機関の利用頻度はどのくらいですか。（どのくらいでしたか）（1つに○）

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 週 5 回 | 2. 月に数回 | 3. 月に 1 回 |
| 4. 2 か月に 1 回 | 5. 3 か月に 1 回 | 6. 4 か月に 1 回 |
| 7. 半年に 1 回 | 8. 年に 1 回未満 | |

問 35 あなたや家族が特に欲しい療育に関する支援は何ですか（何でしたか）。
（4 つまでに○）

1. 学習サポート機関
2. 長期休業中の支援
3. 着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート
4. 療育機関
5. 保育所等訪問支援
6. 発達障がい専門の医療機関
7. 進路選択に関する相談機関
8. 福祉制度に関する生活支援相談機関
9. ストレス対応を教えてくれる機関
10. 適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる機関
11. その他（ ）

6 お子さんの教育・育成についてお聞かせください

問 36 から問 43 までは、就学後のお子さんのみお答えください。

就学前のお子さんは回答せずに、問 44 へお進みください。

問 36 お子さんにとって、望ましい就学環境とはどのような環境だと思われますか。
(1つに○)

1. 地域の学校において、
できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境
2. 地域の学校の特別支援学級において、
できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境
3. 特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境
4. その他 ()
5. わからない

問 37 お子さんは進学時に希望された学校に通われていますか。

1. はい → 問 39 へ
2. いいえ → 問 38 へ

問 37 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問 38 お子さんが希望された学校以外に通われている場合、その主な理由は次のどれですか。(2つまでに○)

1. 受け入れてくれる学校がなかった
2. 学習サポート体制など必要な体制がなかった
3. 学校生活を送る上で、必要な設備などがなかった
4. 通園・通学手段(送迎バスなど)がなかった
5. その他 ()

問 37 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

問 39 現在通われている学校生活での特に問題のある点は、次のどれですか。
(3 つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 通学が大変 | 2. 学習サポート体制が不十分 |
| 3. 学習・学校生活に必要な設備が不十分 | 4. 校内での介助が不十分 |
| 5. 進路指導が不十分 | 6. 福祉教育が不十分 |
| 7. 友達ができない | 8. 職員の理解が得られない |
| 9. 児童・生徒（またはその保護者）の理解が得られない | |
| 10. 家族の同伴を求められる | 11. その他 () |
| 12. 特にない | |

問 40 あなたは、お子さんの学校教育終了後の進路を考えるにあたって、特にどのような不安をお持ちですか。(2 つまでに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 企業などに就職することへの不安 |
| 2. 職業訓練機関で個人の能力や技能を高められるかどうかの不安 |
| 3. 障害者就業・生活支援センターを通じて就労できるかどうかの不安 |
| 4. 障がいの特性に応じた障害者就労施設などに入所できるかどうかの不安 |
| 5. レクリエーション・学習活動を行う施設を活用できるかどうかの不安 |
| 6. 希望する入所施設に入所できるかどうかの不安 |
| 7. その他 () |
| 8. 特にない |

問 41 あなたは、お子さんの学校教育終了後の進路を考えるにあたって、どのような働き方を希望されますか(1 つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 企業などで正社員・正職員として働く |
| 2. 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働く |
| 3. 福祉施設・障害者就労施設などで働く(福祉的就労) |
| 4. 自営業を営む |
| 5. 内職・家事手伝い |
| 6. その他 () |
| 7. 働けない・働いてほしくない |

→ 問 43 へ

問 41 で「7. 働けない・働いてほしくない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 42 あなたは、お子さんに、将来、可能であれば、どこで仕事をしてほしいですか。
(1つに○)

1. 自宅
2. 亀岡市内や近隣市町村など南丹地域
3. 京都市や大阪市など亀岡市に近い都市
4. 関東や九州など亀岡市から遠い地方
5. その他 ()

問 43 あなたは、心身の発達に課題のある児童・生徒の教育・育成に関し、特にどのようなことが必要であると思いますか。(2つまでに○)

1. 障がいへの理解を深めるため、すべての児童・生徒に対する人権教育の推進
2. 児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実
3. スロープなど、児童・生徒の障害に対応した施設整備
4. 教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携
5. 早期発見・早期療育システムの確立
6. 心身の発達に課題のあるお子さん児童・生徒の保護者に対する精神的な支援
7. その他 ()
8. 特にない



7 保護者の負担軽減についてお聞かせください

問 44 家族構成についてお聞きします。同居されている方を、身体や発達に課題のあるお子さんからみた続柄で教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|------------|----------|-------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 兄弟姉妹 | → 問 45 へ | | |
| 6. その他 () | | | |

問 44 で「5. 兄弟姉妹」と回答した方にお聞きします。

兄弟姉妹のおられないお子さんは回答せずに、問 46 へお進みください。

問 45 兄弟姉妹は、家族に心身の発達に課題のあるお子さんがいることで、自分の友人関係や将来に不安を感じていますか。可能であれば兄弟姉妹から聞き取ってお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 心身の発達に課題のあるお子さんとの仲 | 2. 他の家族との仲 |
| 3. 友人との仲 | 4. 進路・就職のこと |
| 5. 結婚・恋愛のこと | 6. 心身の発達に課題のあるお子さんの将来の介護 |
| 7. その他 () | 8. 特にない |

問 46 お子さん以外に兄弟姉妹、祖父母などの中で介護が必要な方はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 兄弟姉妹に心身の発達に課題がある |
| 2. 父親または母親に障がい、病気がある |
| 3. 祖父母の介護が必要である |
| 4. その他 () |
| 5. 特にない |

問 47 主にお子さんをみておられるのは誰ですか。(1つに○)

- | | |
|--------|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 |
| 3. 祖父母 | 4. その他 () |

問 48 お子さんの介助などについて、主にみておられる方を援助してくれる方はいますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 援助者はいない | 2. 半分分担してくれる人がいる |
| 2. 少し分担してくれる人がいる | 4. 病気の時などは分担してくれる人がいる |

問 49 亀岡市の障がい児施策について、特に重要だと思うことは何ですか。(3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. 障がいや育児などを相談できる窓口をつくるなどの相談体制 |
| 2. サービス利用の手続きの簡素化 |
| 3. 行政からの保健や福祉に関する情報提供 |
| 4. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 5. 障がいの特性に応じた保育所・幼稚園での保育内容 |
| 6. 障がいの特性に応じた小・中学校での教育内容 |
| 7. 安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービス |
| 8. 在宅での生活や介助を手助けする福祉サービス |
| 9. 介助者の負担を軽減するため、一時的に預かりを行うサービス (レスパイトケア) |
| 10. 親の会などの当事者組織やボランティア活動への支援 |
| 11. 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動 |
| 12. 障がいの有無にかかわらず、住民同士がふれあうことのできる機会や場の提供 |
| 13. 福祉手当の支給などの経済的支援 |
| 14. 公共施設や道路などのバリアフリー化 |
| 15. その他 () |

8 相談窓口についてお聞かせください

問 50 現在の困ったときの相談体制について、あなたはどのように感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 満足している
2. 近所に相談の場や人がいないので不満である
3. 気軽に相談できる場や人がいないので不満である
4. 夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である
5. その他 ()
6. わからない

問 51 困ったときに、誰に、またはどこに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 職場の人
4. 学校の教職員
5. 通所先（施設など）の職員
6. 心身に生活のしづらさを抱えている人の団体・支援団体
7. 民生委員・児童委員
8. 障がい者相談員
9. ケアマネジャー〈介護保険サービス〉
10. 医療機関（病院、診療所など）
11. ホームヘルパー
12. ボランティア
13. 市役所の窓口（障害福祉課など）
14. 相談支援事業所（障害者相談支援センターお結び、松花苑生活支援センター、地域活動支援センター“圭”、花ノ木医療福祉センター、相談支援センター巴、相談支援センター ふれあいハート、相談支援事業所 はび・ねっと）
15. 専門機関（府・保健所など）
16. その他 ()
17. 相談相手がない
18. 相談ごとはない

問 52 現在相談している内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行動上の問題
2. 身辺自立
3. コミュニケーション
4. 発達の状況
5. 就学相談・就労相談
6. 福祉サービス
7. 関係者間のコーディネート
8. 保護者の精神的なケア
9. その他 ()
10. 相談していることはない

問 53 相談機関に特に期待することは何ですか。(2つまでに○)

1. 近いところで相談ができること
2. いつでもすぐに相談にのってもらえること
3. 具体的な対応に関するアドバイス
4. スタッフが専門的な知識を有していること
5. 必要な機関と迅速に連携してくれること
6. 子どもの年齢などにかかわらず同じ窓口で相談が行われること
7. 相談内容についての秘密が守られていること
8. その他 ()



9 情報提供についてお聞かせください

問 54 サービスに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 職場 | 4. 学校 |
| 5. 通所先（施設など） | |
| 6. 心身に生活のしづらさを抱えている人の団体・支援団体 | |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 障害者相談員 |
| 9. 医療機関（病院、診療所など） | 10. サービス提供事業所 (ヘルパー事業所など) |
| 11. ボランティア | 12. 市役所の窓口（障害福祉課など） |
| 13. 相談支援事業所（障害者相談支援センターお結び、松花苑生活支援センター、 地域活動支援センター“圭”、花ノ木医療福祉センター、相談支援センター巴、 相談支援センター ふれあいハート、相談支援事業所 はぴ・ねっと） | |
| 14. 市の広報紙 | 15. 市役所以外の相談機関 |
| 16. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 17. インターネット（携帯電話も含む） |
| 18. SNS（Facebook・LINE・ブログなど） | 18. その他（) |
| 20. 特に情報を入手していない | |

問 55 子どもの発育に関して、どのような情報の提供を特に望まれますか。
(2つまでに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. お子さんとの遊び方についての情報 |
| 2. 言語の発達についての情報 |
| 3. 多動や他害などの問題行動に関する情報 |
| 4. 育児全般に関する情報 |
| 5. 家族支援に関する情報 |
| 6. 福祉や医療、教育などの制度についての情報 |
| 7. 地域生活に役立つ情報 |
| 8. その他（) |



10 災害時のことについてお聞かせください

問 56 亀岡市では、災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが難しい人をあらかじめ把握し、災害時に要支援者の避難を支援するための名簿「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この制度を知っていますか。(1つに○)
※個人の申請により登録される名簿ではありません。

1. はい
2. いいえ

問 57 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたのお子さんはひとりで避難できると思いますか。(1つに○)

1. ひとりで避難できると思う
2. ひとりでは避難できないと思う
3. わからない

問 58 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはお子さんとどこに避難するか決めていますか。(1つに○)

1. 決めている
2. 決めていない

問 59 災害時の救援のために、個人情報の保護を条件として、あなたのお子さんの手帳情報を行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいと思いますか。
(1つに○)

1. はい → 問 61 へ
2. いいえ → 問 60 へ

問 59 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問 60 それは主にどのような理由によりますか。(1つに○)

1. 個人情報の流出が不安であるため
2. 情報を伝えても救援が期待できないため
3. その他 ()

問 61 あなたが、お子さんに対して災害が起きた時に特に支援してほしいことは、何ですか。(3つまでに○)

- 1. 災害情報を知らせてほしい
- 2. 必要な治療や薬を確保してほしい
- 3. 避難場所を教えてほしい
- 4. 避難時の声かけをしてほしい
- 5. 避難場所までの避難を支援してほしい
- 6. 避難場所で介護してほしい
- 7. 手話など、コミュニケーション手段を確保してほしい
- 8. 避難場所の設備(トイレ・段差など)をバリアフリー化してほしい
- 9. 福祉避難所(一般の避難所とは別に設置される、障がいのある人などが避難できる場所)での支援
- 10. その他()
- 11. 特にない



11 保健・医療のことについてお聞かせください

問 62 あなたは、お子さんの体調を維持するために、気を配っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 食事（栄養バランスなど）に気をつけている
2. スポーツ・運動（リハビリを含む）をしている
3. 睡眠を十分にとっている
4. 定期的を受診（健診）し、必要であれば服薬している
5. 遊び・レクリエーションでストレスを解消している
6. その他（ ）
7. 特にない

問 63 あなたのお子さんの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（1つに○）

1. 年に数回
2. 月に1回程度
3. 2週間に1回程度
4. 週に1回程度
5. 週に2～4回程度
6. ほぼ毎日
7. 通院していない

問 64 あなたのお子さんは、障がいのことで普段から受診したり、相談したりできる、病院や診療所の「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）

1. いる
2. いない

問 65 あなたのお子さんは、夜間や休日に急に具合が悪くなったときに、どのように対応しましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 「かかりつけ医」にすぐに診てもらった
2. 救急・夜間休日診療（亀岡市休日急病診療所など）で診てもらった
3. 救急車を呼んで病院（亀岡市立病院など）で診てもらった
4. 薬を服用するなどして、病院や診療所の診察が始まるまで我慢した
5. 救急電話相談などで助言を受けた
6. 何もしないで我慢した
7. その他（ ）
8. 急に具合が悪くなったことはない

小児慢性特定疾病の認定を受けている方（問 18 で「1. 受けている」と回答した方）にお聞きします。

問 66 あなたのお子さんは、病気のこととて専門病院（診療所を含む）にかかっていますか。（1 つに○）

1. かかっている

→ 問 67 へ

2. かかっていない

→ 問 68 へ

問 66 で「1. かかっている」と回答した方にお聞きします。

問 67 あなたのお子さんの「かかりつけ医」と専門病院の医師とは、お子さんの病気のこととて連絡・連携をうまくとれていますか。（1 つに○）

1. うまくとれている

2. あまりとれていない

3. わからない

4. 「かかりつけ医」はいない

問 68 医療を受ける上で特に困っていることはありますか。（3 つまでに○）

1. 医療費の負担が大きい

2. 通院費（交通費）の負担が大きい

3. 通院（病院までの移動）が困難

4. 入院時の付き添いがいない

5. 専門的な治療をする病院が近くにない

6. 訪問看護を利用できない

7. 往診を頼める医師がいない

8. 障がいがある理由で治療を受けにくい

9. 意思を伝えるのが難しい（手話、要約筆記など）

10. その他（ ）

11. 特にない



12 亀岡市の施策の満足度・重要度についてお聞かせください

問 69 亀岡市の障がい者施策全般についてお聞きします。

- (1) 「障がいや疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実」について、「現在の満足度」はどの程度になりますか。その程度をそれぞれの項目ごとに「満足」の「5」から「不満」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。
- (2) 次に、「今後の重要度」について、市の障がい者施策でどの分野を重要視すべきかを「重要」の「5」から「重要でない」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

| 項目 | (1) 現在の満足度 | | | | | (2) 今後の重要度 | | | | |
|---|------------|------|----|------|----|------------|------|----|----------|-------|
| | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 | 重要 | やや重要 | 普通 | あまり重要でない | 重要でない |
| 障がいや疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実 | | | | | | | | | | |
| ①療育・保育・教育における支援体制の充実 | | | | | | | | | | |
| ○早期発見・療育体制（乳幼児健康審査） | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ○相談体制 | | | | | | | | | | |
| ②インクルーシブ教育システムの構築 | | | | | | | | | | |
| ※インクルーシブとは、障がい児教育などにおいて、一人ひとりが障がいの有無にかかわらず、社会に受け入れられ、適切な支援を受けられること。 | | | | | | | | | | |
| ○障がい児教育 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ○学びやすい教育環境の整備 | | | | | | | | | | |

問 70 あなたが、心身に生活のしづらさを抱えている人を支援する機関や窓口として、知っているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

| |
|---|
| 1. 京都障害者職業相談室 2. なんとん障害者就業・生活支援センター 3. 障害者相談支援センター「お結び」 4. 指定特定相談支援事業所 |
|---|

問 71 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。（1つに○）

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|--|--|-------|
| とても不幸 | | | | | | | | | | | | | とても幸せ |
| 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | | | |

13 福祉サービスについてお聞かせください

問 72 あなたのお子さんは、現在福祉サービスを利用していますか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 利用している | → 問 73 へ |
| 2. 利用していない | → 問 76 へ |

問 72 で「1. 利用している」と回答された方にお聞きします。

問 73 あなたのお子さんが、現在利用している福祉サービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. ホームヘルプサービス (居宅介護) 【自宅での日常生活の支援】 |
| 2. 短期入所 【施設などにおいて短期間入所できるサービス】 |
| 3. 移動支援事業 (ガイドヘルプ) 【外出の時の付き添い】 |
| 4. 放課後等デイサービス 【放課後などにおいて過ごすサービス】 |
| 5. 放課後児童会 |
| 6. ファミリーサポート 【育児や介護に対して助け合う会員組織】 |
| 7. 児童発達支援、療育教室など 【個別や集団での遊びを通じ発達に即した適切な援助】 |
| 8. 保育所等訪問支援 【保育所などを訪問して行う集団生活への適応のための専門的な支援】 |
| 9. その他 () |
| 10. 特に利用していない |

問 72 で「1. 利用している」と回答された方にお聞きします。

問 74 現在利用しているサービスで不満な点がありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 不満はない | → 問 76 へ |
| 2. 不満がある | → 問 75 へ |

問 74 で「2. 不満がある」と回答された方にお聞きします。

問 75 どのような不満がありますか。

(枠内にあてはまる《選択肢》の数字を1つずつ記入)

| 福祉サービス | 不満 (《選択肢》の数字) |
|--------------------|---------------|
| ①ホームヘルプサービス (居宅介護) | |
| ②短期入所 | |
| ③移動支援事業 (ガイドヘルプ) | |
| ④放課後等デイサービス | |
| ⑤放課後児童会 | |
| ⑥ファミリーサポート | |
| ⑦児童発達支援、療育教室など | |
| ⑧保育所等訪問支援 | |

《選択肢》

| |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 緊急時の利用がしにくい2. 土日など休日の利用がしづらい (利用が集中する)3. 希望した日時に利用できない4. 利用者が多数などの利用で希望通りの時間までサービスを使えない5. 対応してもらえない (利用できる) 事業所が少ない6. 保護者の就労支援の理由ではサービスが使えない7. 利用できる時間 (支給量) が少ない8. 必要な設備が不十分9. 職員の理解を得られない10. 通うのが大変11. その他 () |
|---|

問 76 お子さんがサービスを現在利用している場合、その理由は何ですか。また、現在サービスを利用していない場合、サービスを利用するとしたら、どのような理由で利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

| |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 子どもをみたい場合でも、仕事をしているため2. 子どもをみたい場合でも、家庭の用事があるため3. 保護者の休息のため4. 子どもが充実した余暇を過ごせるようにするため5. その他 () |
|--|

問 77 今後、お子さんが利用したい福祉サービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ホームヘルプサービス (居宅介護) 【自宅での日常生活の支援】
2. 短期入所 【施設などにおいて短期間入所できるサービス】
3. 移動支援事業 (ガイドヘルプ) 【外出の時の付き添い】
4. 放課後等デイサービス 【放課後などにおいて過ごすサービス】
5. 放課後児童会
6. ファミリーサポート 【育児や介護に対して助け合う会員組織】
7. 児童発達支援、療育教室など 【個別や集団での遊びを通じ発達に即した適切な援助】
8. 保育所等訪問支援 【保育所などを訪問して行う集団生活への適応のための専門的な支援】
9. その他 ()
10. 特に利用したいサービスはない



14 医療的ケアについてお聞かせください

問 78 あなたのお子さんは、どのような医療的ケア（服薬や通院を除く）が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

※医療的ケアとは、たんの吸引、導尿、経管栄養、人工呼吸器管理など、基本的に医療職や家族等にしか認められていない医療的な生活援助行為のことです。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 医療的ケアは必要でない | → 問 81 へ |
| 2. 膀胱留置カテーテル | 3. 導尿 |
| 4. 摘便 | 5. 人工肛門の造設 |
| 6. 胃ろう | 7. 経管栄養 |
| 8. 人工呼吸器の装着 | 9. 気管切開 |
| 10. 気管内・口腔内吸引（たんの吸引など） | 11. 在宅酸素療法 |
| 12. じょく瘡（床ずれ）の処置 | 13. インシュリン注射 |
| 14. 経中心静脈栄養（IVH、CVなど） | 15. その他（ ） |

問 78 で「1. 医療的ケアは必要でない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 79 医療的ケアは、どのくらいの頻度で必要ですか。（1つに○）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. ほぼ常時 | 2. 1日に1～2回 |
| 3. 2～3日に1～2回 | 4. 週に1～2回 |
| 5. 月に1～2回 | 6. その他（ ） |

問 78 で「1. 医療的ケアは必要でない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 80 あなたのお子さんは、医療的ケアが必要なために困ったことはありますか。（1つに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 行きたい学校などに行けない | 2. 生活するうえでできないことがある |
| 3. 家族の負担が大きい | 4. 相談できる人がいない |
| 5. その他（ ） | 6. 特にない |

15 保護者の状況についてお聞かせください

保護者があて名のご本人を主に介助（介護）していない場合は回答せずに、「問 87（自由意見）」へお進みください。

※なお、回答する介助者（介護者）の方は、本人が回答内容を確認したり、本人が代わって回答することのないように、ご配慮をお願いいたします。

問 81 介助者（介護者）の方の年齢は、何歳ですか。

※令和元年#月#日現在でお答えください。

満（ ）歳

問 82 介助（介護）について困っていることはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|------------------|
| 1. 心身が疲れる | 2. 自分の時間が持てない |
| 3. 経済的負担が大きい | 4. 仕事・家事が十分にできない |
| 5. その他（ ） | 6. 困っていることはない |

問 83 病気や事故、休養などで一時的に介助（介護）できなくなった場合、どのように対応していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 家族や親戚に頼む | 2. 友人や知人に頼む |
| 3. ボランティアや支援団体に頼む | 4. 有料の人材派遣に頼む |
| 5. ホームヘルプを利用 | 6. 訪問看護を利用 |
| 7. ショートステイを利用 | 8. その他（ ） |
| 9. 頼める人やサービスがない | 10. 介助（介護）を頼んだら断られた |

問 84 将来の生活において、どのような不安がありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 自分の体調が低下せずに、本人を介助（介護）できるか
2. 経済的に今の生活を続けられるか
3. 身近に相談できる人を見つけられるか
4. 本人が自立して生活できる場を見つけられるか（グループホームなど）
5. 本人に代わって契約や金銭管理できる人を見つけられるか（成年後見人など）
6. 本人が障がい者を狙った犯罪の被害者にならないか
7. 本人が障がいへの偏見から差別されないか
8. その他（ ）
9. 将来の生活に不安はない

問 85 将来、本人がどのような暮らし方をすることを望みますか。(1つに○)

- 1. 一人で暮らす
- 2. 家族と一緒に暮らす
- 3. 結婚して配偶者(夫または妻)と暮らす
- 4. 福祉施設(障がい者施設、高齢者施設など)で暮らす
- 5. 仲間と地域で共同生活する(グループホームなど)
- 6. その他()
- 7. わからない

問 86 現在、家族生活において本人との関係で困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 本人と意思を伝えあうのが難しい
- 2. 本人とけんかすることが度々ある
- 3. 家庭内暴力
- 4. ひきこもっている
- 5. その他()
- 6. 特にない

16 自由意見

問 87 亀岡市の障がい者施策全般について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。記述欄が足りない場合は、別紙に記述し、返信用封筒に同封してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご返信ください。